

横浜市港湾局の方に インタビュー

横浜港へ行ってみよう!

八月九日(水)に横浜市港湾局賑わい振興課 課長補佐の丸山さんの案内で、マリリンシヤトル号に乗せていただき、横浜港をめぐりながらインタビューさせていただきました。

Q1 横浜港で一番大切な場所はどこですか。

A 全体が大切ですが、航路を船が安全に通れるように、ヨミをかきあつめるための専用の船もあります。岸壁や道路も大切に、そのために協力して港を運営しています。

Q2 横浜港の自まんは何ですか。

A わが国を代表する総合港湾であるという事です。もう一つは、「みなと色彩計画」がある事です。

Q3 横浜港のすごい所は何ですか。

A 日本で一番深い岸壁(18m)がある事と、横浜港がみんなから愛されている所です。

Q4 横浜港には、どんな船が来るのですか。

A コンテナ船やタンカー、一般貨物船、客船、自動車専用船などです。



Q5 横浜港の仕事で一番大変なところはどこですか。

A ガントリークレーンは高い所に操縦する事があるので、事故がないよう、大変です。



Q6 横浜港には、どのくらいのコンテナクレーンがありますか。

A 全部で37基あります。



Q7 横浜市港湾局の人は、全部で何人ぐらい働いていますか。

A 今は、150人ぐらいですが、昔は300人ぐらいいました。

Q8 横浜港に今まで来た船の中で、一番大きな船はどんな船ですか。

A ニー四年(平成二十六年)五月二十三日に、マースクライン(デンマーク)が運航する世界最大のコンテナ船「MARSTALMARESK」が、国内で初めて横浜港に入港しました。全長が399メートルあり、20フィートコンテナを約1万8000個積み事ができます。

Q9 横浜港は何ヶ国と貿易しているのですか。

A ほぼ、すべての国と貿易しています。

Q10 横浜港では、どのようなものを輸出していますか。

A 輸出としては、自動車関係のものが多いです。その理由は、自産自動車の本社が横浜にあり、トヨタ、いすゞなどの自動車会社も横浜から海外へ輸出しているからです。

Q11 輸入は、天然ガスと原油が全体の3分の1を占めています。

編集後記

横浜港は、昔からたくさんのお客さんで賑わっています。税関でも正しく貿易が行われるように努力していただいているの、ありがとうございました。また、横浜市港湾局の方にインタビューさせていただき、取材に協力して下さったみなさん、ありがとうございました。

横浜港 おどろきのデータ (2016年の港勢)

(1) 外国航路入港船舶船数 9849隻

(2) 取扱貨物量 1億9125万トン
そのうちコンテナ貨物は 3894万トン

(3) 貿易額 総額10兆6846億円
輸出 6兆8847億円 輸入 3兆7999億円

ポイント

① 海にあるゴミ

② ヒアリ

③ 強風、高波

コラム

なぜ横浜港はこんなにも栄えているのでしょうか。それは、日本の首都である東京に近いため、東海、北陸、山にかけられた、節風があまりふきこまない、海が深い、元々大型船が入りやすい、通関手も通関料も安い、かな港なのです。

なせ横浜港はこんなにも栄えているのでしょうか。それは、日本の首都である東京に近いため、東海、北陸、山にかけられた、節風があまりふきこまない、海が深い、元々大型船が入りやすい、通関手も通関料も安い、かな港なのです。

答えは最後のページにあります。

参考資料

統計横浜港 横浜市港湾局発行(H29)

わたしたちの横浜港 横浜港振興協会(H16)

横浜港の経済効果 横浜市港湾局(H29)

ポイントオプティマ 横浜港振興協会(H29)

